



第40回 ソフトウェア技術者協会 総会

日時：2025年7月3日（木）18:30～19:30

場所：オンライン（Zoom）

議題：

- 第一号議案 2024年度事業報告
- 第二号議案 2024年度決算報告
- 第三号議案 2025年度事業計画
- 第四号議案 2025年度予算審議
- 第五号議案 役員改選

第一号議案 2024 年度事業報告

例年通り、ソフトウェア・シンポジウム 2024 を開催した（開催場所は出島メッセ長崎で、ハイブリッド開催とした）。その他、フォーラムや各種分科会活動を積極的に行った。

ソフトウェア・シンポジウム 2024 の概要は次のとおり。

第 44 回 Software Symposium 2024

期日：2024 年 6 月 12 日（水曜日）～ 14 日（金曜日）

会場：ハイブリッド開催（オンライン&現地：出島メッセ長崎）

参加者：146 人

実行委員長：中野 一英（NDKCOM）、池田 暁（クオリティアーツ）

プログラム委員長：日下部 茂（九州工業大学）、古畑 慶次（生産経営研究所）

ワーキング・グループ：9

論文・Future Presentation・報告セッション：21

（研究論文 9 本、経験論文 5 本、事例報告 3 本、FP 4 本）

フォーラム・ワークショップの開催実績は次のとおり。

2024.10.10-12 SEA 教育ワークショップ

生成 AI が学校教育、企業教育に進展

～進展してわかってきた得意分野や課題を徹底討論～

2024.11.24 SEA Forum in Nov. 2024

ソフトウェアエンジニアの人材獲得と技術伝承

2024.12.18 SEA Forum in Dec. 2024

SS2024 最優秀発表賞、論文奨励賞 受賞論文を聞く会

2025.01.31 SEA 新春教育フォーラム 2025

～最新教育実践事例の研究～

2025.02.22 SEA Forum in Feb. 2025

上流から下流まで生成 AI が変革するシステム開発

2025.03.18 SEA Forum in Mar. 2025

コンピューティングおよびソフトウェア工学の潮流：

IEEE-CS 技術予測&SWEBOK Guide に基づく AI・アジャイル・サステナビリティの展望

これらの他に 2024.10.18 SEA 会員懇親会 in Oct. 2024

会員の皆さんが各自の経験や技術を自由に交流し合うための「場」を開催した。

分科会では、教育分科会がワークショップとフォーラムを開催した。

支部活動では、北海道支部がフォーラムを開催した。

国際交流に関しては前年度に引き続き、企画はありませんでした。

情報発信としては、WEB／メールと SEA MAIL を用いている。

メールについては、「SEA 事務局通信」として、SEA のイベントの案内、後援／協賛をしているイベントの案内を中心に、タイミングよく発信をした。

幹事会、支部活動、SIG 活動、ソフトウェア・シンポジウム、フォーラムなどにおいて、リモートで参加できる環境を提供するために、Zoom (Charge Name: Standard Pro Annual, Quantity:1) と Dropbox (Professional) を継続で契約を更新し、活用した。

第二号議案 2024 年度決算報告

決 算 報 告 書

(第 39 期)

自 2024年 4月 1日
至 2025年 3月31日

ソフトウェア技術者協会

電話： - -

貸 借 対 照 表

2025年 3月31日 現在

ソフトウェア技術者協会

(単位： 円)

資産の部

【流動資産】

現 金 及 び 預 金	6,825,327	
流 動 資 産 合 計		6,825,327
資 産 の 部 合 計		6,825,327

負債の部

負 債 の 部 合 計	0
-------------	---

純資産の部

【株主資本】

利 益 剰 余 金		
そ の 他 利 益 剰 余 金		
繰 越 利 益 剰 余 金	6,825,327	
そ の 他 利 益 剰 余 金 合 計	6,825,327	
利 益 剰 余 金 合 計	6,825,327	
株 主 資 本 合 計		6,825,327
純 資 産 の 部 合 計		6,825,327
負 債 及 び 純 資 産 合 計		6,825,327

損 益 計 算 書

自 2024年 4月 1日
至 2025年 3月31日

ソフトウェア技術者協会

(単位： 円)

【売上高】

売 上 高	760,000	
売 上 高 合 計		760,000
売 上 総 利 益 金 額		760,000

【販売費及び一般管理費】

販売費及び一般管理費合計	718,239	
営 業 利 益 金 額		41,761

【営業外収益】

雑 収 入	3,365	
営 業 外 収 益 合 計		3,365
経 常 利 益 金 額		45,126
税 引 前 当 期 純 利 益 金 額		45,126
当 期 純 利 益 金 額		45,126

販売費及び一般管理費内訳書

自 2024年 4月 1日
至 2025年 3月31日

ソフトウェア技術者協会

(単位： 円)

会	議	費	143,550
通	信	費	245,979
寄	付	金	100,000
雑		費	28,710
支	部	支 援 費	200,000

販売費及び一般管理費合計

718,239

監査報告書

私たちは、ソフトウェア技術者協会の 2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの会計年度における会計業務の監査を行いました。

監査の方法については、帳簿ならびに関連書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確さを検討致しました。

その結果、貸借対照表、損益計算書、販売費及び一般管理費内訳書は、会計帳簿の記載金額に基づいて作成され、協会の収支状況及び財政状態を正しく示しており、適法かつ正確であることを認めました。

2025 年 6 月 30 日

ソフトウェア技術者協会

会計監事

乗松 聡
中森 博晃

第三号議案 2025 年度事業計画

実務を各幹事で分担する運営体制を維持し、より積極的に会の活動を行っていく。また、会員相互のコミュニケーションを促進する。

1. 会員数

現正会員数：145 人（昨年度 143 人）

新規会員（昨年度）：2 人（昨年度 19 人）

名誉会員：9 人

2 活動計画

(1) フォーラム

- ・方針：フォーラムの企画と運営を組織的な取り組みとする。
- ・内容：個別テーマと連続テーマの 2 つに分ける。連続テーマについては、数年かけてフォローする。
- ・狙い：良質な議論の場としての認知を広げる。SEA としての知識の蓄積。
- ・方法：内容、講演者からのリクエスト、社会情勢などから、集合、オンライン、ハイブリッドの中から適切な方法を選択する。
- ・テーマ案：
AI, AI Assisted Programming Process, データサイエンス, DX,
セキュリティ, 信頼性／安全性, プロジェクト・マネジメント, 技術伝承など
- ・特別フォーラム

SEA のコミュニティ以外のより幅広い方々へ SEA の存在と活動内容を知ってもらおうという目的で、特別フォーラムを開催する。年度毎の開催頻度や開催方法については、幹事会で検討する。

(2) ソフトウェア・シンポジウム

ソフトウェア技術に関わるさまざまな人びと、技術者、研究者、教育者、学生などが一堂に集い、発表や議論を通じて互いの経験や成果を共有することを目的に、毎年全国各地で開催。発表は論文発表・事例報告・Future Presentation、議論の場としてはワーキンググループを用意している。

(3) 支部活動、分科会活動の強化

現在、以下の 9 つの支部と分科会が設置されている、活動している支部／分科会もあるが、休眠状態の支部／分科会もある。これらについては活動継続の確認を進める。

支部活動：

上海支部
九州支部
北海道支部
北陸支部
名古屋支部
広島支部
東北支部
横浜支部
関西支部

分科会活動：

教育分科会 (SIGEDU)
ソフトウェアプロセス分科会 (SPIN)
フォーマルメソッド分科会 (SIGFM)
ソフトウェア品質保証分科会 (SIGSQA)
ソフトウェア信頼性研究会 (FORCE)
システムオブシステムズ分科会 (SIGSoS)
プロセス設計分科会 (SIGPD)
ソフトウェア・メンテナンス研究会 (SERC)
オープンソース分科会

支部活動、分科会活動は、国内外のソフトウェア技術者の交流の場として大切なものなので、この2つの活動を積極的に支援する。具体的には、イベント開催の相談や活動費用の提供を行う。

また、新規に立上げを予定している支部活動、分科会活動があれば、積極的にサポートする。具体的には、ソフトウェア・シンポジウムのワーキング・グループやチュートリアルリーダーやメンバに、議論を継続する場として提供できる事を伝える。また、興味深い活動をしている方々がいれば、SEA 会員になっていただいたうえで、支部活動や分科会活動で実践することを提案する。

さらに、支部活動、分科会活動の発信力を強化するために、独自の Web サイトを立ち上げることも支援する。現在、独自の Web サイトを持っている活動は以下のとおりである。

支部活動： 北海道支部、東北支部、関西支部

分科会活動：教育分科会 (SIGEDU)、ソフトウェア信頼性研究会 (FORCE)、

システムオブシステムズ分科会 (SIGSoS)
プロセス設計分科会 (SIGPD)

(4) 今年度のイベント計画

SEA Forum, 分科会活動を計画的に行う.

9 月 SEA forum

10 月 - SEA 会員懇親会

- SS2026@下関 実行委員会準備開始

11 月 8 日 SEA Forum @ 北海道 (北海道支部主催)

12 月 - ソフトウェア信頼性研究会第 18 回ワークショップ

1 月 - 第 34 回 SEA 新春教育フォーラム 2026

- SEA Forum

2 月 - SS2026 のロケハン+SEA Forum@下関

3 月 SEA Forum

4 月 -SS2026@下関 PC 委員会

6 月 -SS2026@下関

(5) 国際会議の企画

今までの関係と実績のある韓国, 中国, 台湾, ミャンマー, ベトナムなどとの国際会議を中心に, 企画の検討を開始する.

(6) SEA MAIL の電子版の発刊

SEA フォーラム開催時に報告書作成担当を決め, SEA フォーラムの実施記録を SEA MAIL として発行できるようにする. また, 幹事会で SEA MAIL への投稿を呼びかけ, 持ち回りで担当することを検討する.

(7) 幹事会

基本的には, 毎月 1 回開催する予定で開催スケジュールをたてる.

2. 審議事項

今回は特になし

第五号議案 役員改選

役員（案）

☐ 代表幹事

本多慶匡

☐ 幹事（五十音順）

荒木啓二郎	石川雅彦	伊藤昌夫	小笠原秀人
岡本圭史	小川明彦	落水浩一郎	岸田孝一
熊澤努（新）	熊谷章	栗田太郎	小林修
小松久美子	酒匂 寛	杉田義明	鈴木裕信
富松篤典	中谷多哉子	中山優紀	奈良隆正
野村行憲	端山毅	平尾一浩	三輪東
宮田一平	米島博司		

☐ 会計監事

中森博晃 乗松 聡

☐ 名誉会員

荒木啓二郎	岸田孝一	熊谷章	玉井哲雄
松原友夫	山崎利治	落水浩一郎	杉田義明
奈良隆正			

以上